

令和4年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R4-26)

施策名	目標5-7 国際観光資源の整備					
施策の概要	美しい国立公園等の自然を持続的に活用し観光資源の整備等により、国内外の旅行者の地域での体験滞在の満足度の向上を図る。					
達成すべき目標	平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げる2020年国立公園訪日外国人利用者数1000万人の目標を達成し、「観光先進国」の実現に貢献する。					
施策の予算額・執行額等	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	6,862	4,962	2,201	2,545
		補正予算(b)	5,993	799	-	-
		繰越し等(c)	▲5,473	7,233	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	7,382	12,994	(※記入は任意)	
執行額(百万円)	6,380	10,033	(※記入は任意)			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	観光ビジョン実現プログラム2019、骨太の方針2021、成長戦略フォローアップ2021					

測定指標	国立公園訪日外国人利用者数	基準値	実績値					目標値	達成
		H27年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R7年度	-
		490万人	694万人	667万人	93万人	-	64万人	667万人	
	年度ごとの目標値		-	-	-	-	-		
	滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度	○
		-	-	6拠点	14拠点	20拠点	8拠点	9拠点	
	年度ごとの目標値		-	5拠点	10拠点	14拠点	9拠点		
	利用施設の多言語化	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	○
		-	5施設	18施設	44施設	51施設	64施設	40施設	
	年度ごとの目標値		8施設	24施設	40施設	40施設	40施設		
	野生動物観光促進事業の実施者数	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	×
		-	-	12者	8者	-	-	10者	
	年度ごとの目標値		-	10者	10者	-	-		
	一般公開に向けた改善に取り組んだ野生生物保護センター数	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	○
		-	-	2施設	3施設	-	-	3施設	
年度ごとの目標値		-	1施設	3施設	-	-			
ビジターセンター等機能強化	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度	×	
	-	-	33施設	49施設	50施設	56施設	60施設		
年度ごとの目標値		-	32施設	60施設	60施設	60施設			
国立公園一括情報サイトの訪問回数等(接触媒体者数)	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度	×	
	-	-	117万	19万	253万	72万	180万		
年度ごとの目標値		-	-	180万	180万	180万			
国立公園等の自然を活用した滞在型コンテンツ創出事業により造成等されたコンテンツ件数	基準値	実績値					目標値	達成	
	年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	-	×	
	-	-	-	-	41	-	-		
年度ごとの目標値		-	-	-	44	-			

<p>目標達成度合いの測定結果</p>	<p>(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり</p> <p>(判断根拠)</p> <p>滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数、利用施設の多言語化、国立公園一括情報サイトの訪問回数等について、令和4年度実績値は、目標値を大きく超えるペースで増加しており、受入環境整備が進展している。その他の取組についても目標値達成まで到達していないが、着実に実績が出ており、受入環境整備に貢献している。国立公園訪日外国人利用者数については、段階的なインバウンド再開を受けて、令和4年度下半期より調査を再開したところ。</p>
<p>施策の分析</p>	<p>目標であった国立公園訪日外国人利用者数について、インバウンドの再開を受けて、令和4年下半期から利用者数調査を再開した。今後、インバウンドの回復に向けて、さらなる国立公園の魅力向上により、国立公園のブランド化と上質なツーリズムを推進する。</p> <p>同様に、海外からの誘客が困難な状況となったため、国立公園一括情報サイトへの積極的なプロモーションを中止(今年度繰越)したため、実績値が低くなった。</p> <p>多言語化や利用拠点の上質化などは、我が国ならではの特徴を有する国立公園の魅力を感じて質の高いツーリズムを提供するにあたって必要な受入環境を整備するものであり、「観光先進国」の実現に必要なものであることから、引き続き実施し、回復期に向けた取組を進めることが必要である。</p> <p>さらに、今後の回復に向けて、国立公園一括情報サイト等を通じた国立公園の魅力の情報発信により、状況を踏まえながら誘客を行っていくことが必要である。</p>
<p>評価結果</p> <p>次期目標等への反映の方向性</p>	<p>【施策】</p> <p>インバウンドの回復を受けて、2021年以降の訪日外国人利用者数の目標設定については、2025年までに訪日外国人の国立公園利用者数を新型コロナウイルスの影響前に回復させることとし、平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げる2030年訪日外国人旅行者数6,000万人等の目標と「観光先進国」の実現に貢献することとする。</p> <p>【測定指標】</p> <p>&lt;国立公園訪日外国人利用者数&gt;</p> <p>インバウンドの回復を受けて、新型コロナウイルスによる影響を受ける前の数値を目標として、段階的な回復を目指す。</p> <p>&lt;滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数&gt;</p> <p>利用拠点の再生・上質化が進むことで魅力が向上し、来訪者の増加、滞在時間の増加が図られるため、引き続き、官民による国立公園利用拠点計画を作成し、滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数の増加を図っていく。</p> <p>次回からは、取組地域拡大の観点から、単年度毎の事業実施拠点数のカウント方法から、事業開始以降累計の事業実施拠点数のカウント方法に変更する。</p> <p>&lt;利用施設の多言語化&gt;</p> <p>外国人観光客が情報収集を行う際のツールとして必要なことから、令和4年度までの取組状況を踏まえ、令和5年度も令和4年度までと同程度の整備目標を設定して取組を進める。</p> <p>&lt;野生動物観光促進事業の実施者数&gt;</p> <p>本事業は終了しているため、令和5年度の目標設定は行わない。</p> <p>&lt;一般公開に向けた改善に取り組んだ野生生物保護センター数&gt;</p> <p>本事業は終了しているため、令和5年度の目標設定は行わない。引き続き、適切な野生生物保護センターの運営に努める。</p> <p>&lt;ビジターセンター等機能強化&gt;</p> <p>国立公園利用の拠点となるビジターセンターの機能強化を図ることで、外国人観光客にわかりやすく国立公園の魅力を伝えることが可能となることから、令和4年度までの取組状況を踏まえ、令和5年度も令和4年度までと同程度の整備目標を設定して取組を進める。</p> <p>&lt;国立公園一括情報サイトの訪問回数等&gt;</p> <p>国立公園一括情報サイトについて、新型コロナウイルスによる影響を受ける前の数値を目標として、引き続き訪問回数等の段階的な回復を目標とする。</p> <p>&lt;国立公園等の自然を活用した滞在型コンテンツ創出事業により作成等されたコンテンツ件数&gt;</p> <p>令和4年3月に「国立公園における自然体験コンテンツガイドライン」を作成し、同年後半以降、自然体験コンテンツの内容、安全対策・危機管理、環境への貢献・持続可能性の3つの観点から、一定の基準をクリアしたコンテンツを計測することが可能となったことから、国立公園の目指す上質なツーリズムに貢献する質の高いコンテンツの指標として、新たに「国立公園における自然体験コンテンツガイドラインを満たす自然体験コンテンツ数」を採用する。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	国立公園満喫プロジェクト有識者会議において、取組内容について報告するとともに、出された意見を施策に反映している。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	国立公園訪日外国人利用者数推計値
---------------------------	------------------

担当部局名	自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課 野生生物課	作成責任者名	番匠克二(国立公園課長) 水谷努(国立公園利用推進室長) 萩原辰男(自然環境整備課長) 中澤圭一(野生生物課長)	政策評価実施時期	令和5年8月
-------	---	--------	---	----------	--------